

## ■ 医見書システム 患者データユーティリティ 使用説明書

患者データユーティリティは、医見書(Ver2.5以降)のデータベースから患者情報のエクスポートができます。また、別の医見書(Ver2.5以降)のデータベースやエクスポートデータからお使いの医見書への患者情報のインポートが行えるツールです。また、患者基本情報(住所氏名等の頭書き)のCSVファイルへの書き出しも可能です。

注意：インポートの場合、取り込み元のバージョンが取り込み先のバージョンより新しい場合は、取り込めない場合があります。

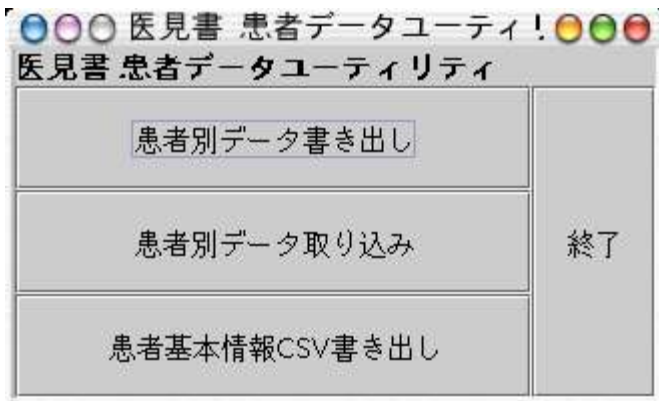
### 動作条件：

- ・ 医見書 Ver2.5 が動作している環境であれば、Windows, Macintosh を問わずどの OS でも動作可能です。
- ・ Java Runtime Environment Ver1.4.2 以上
- ・ Firebird Ver1.5.1 以上
- ・ 医見書にて複数台のコンピュータでデータベース共有をしている場合、データベースサーバとつながっているコンピュータで実行するか、ローカルホスト上にデータベースを持ってくる必要があります。
- ・ 上記の場合や、医見書のデータベースサーバ(Firebird)のみで運用中のコンピュータで本ツールを実行する場合、ローカルホストに置いたデータベースを設定した医見書の設定ファイル(lkensyoProper ityXML.xml)が本ツールの実行ファイル(DBUtil.jar)と同一フォルダ配下に必要となります。
- ・ 患者別データの書き出しの場合、書き出し先に書き出し元データベース(医見書で設定のもの)と同サイズ以上の空き容量が必要となります。
- ・ 医見書のデータベースサーバのみで運用中のコンピュータ上で本ツールを実行する場合、JRE および、Firebird用 JDBC ドライバ(firebirdsql-full.jar)が本ツールの実行ファイルと同一フォルダ配下にあるlibフォルダ配下に必要となります。
- ・ ※firebirdsql-full.jar は医見書のフォルダ(lkensyo2.5)配下の lib フォルダ内にあります。
- ・ Windows Vista 上の本ツールで書き出した FDB ファイルは他 OS 上の本ツールで取り込む事は出来ません。
- ・ 医見書のインストールフォルダ以外の場所に本ツールを設置する場合、以下のディレクトリ構成にする必要があります。

```

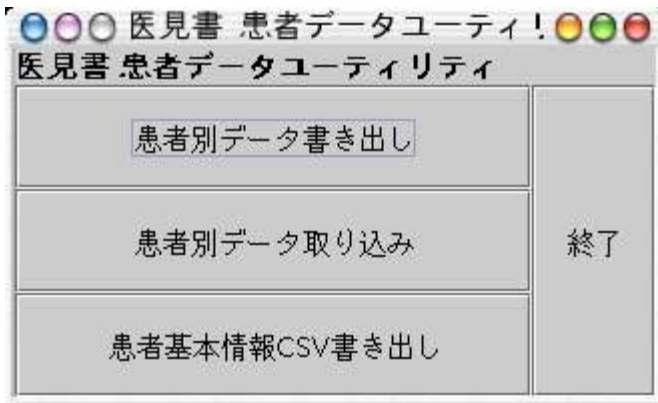
~/
├── DBUtil.jar
├── lkensyoProper ityXML.xml (医見書のデータベース設定が記述されている事)
└── lib/
    └── firebirdsql-full.jar (医見書配布物に含まれています)
    
```

### 起動画面



- 患者別データ書き出し： 医見書のデータベースから患者別の情報をファイルに出力します。
- 患者別データ取り込み： 医見書のデータベースへ別のファイルから患者別の情報を取り込みます。取り込み元ファイルとして医見書のデータベースファイルや本ツールで書き出した患者別データ(FDB ファイル)、そして本ツールで書き出した患者基本情報と給管鳥データユーティリティで書き出した利用者基本情報(CSV ファイル)が選択出来ます。
- 患者基本情報 CSV 書き出し： 医見書のデータベースから患者基本情報のみ CSV ファイルへ出力します。書き出した CSV ファイルは、本ツールの患者別データの取り込み機能と給管鳥を御使用であれば、給管鳥データユーティリティでの取り込みに対応します。

1. 患者別データ書き出し手順



患者データユーティリティの起動画面から「患者別データ書き出し」ボタンを押します。



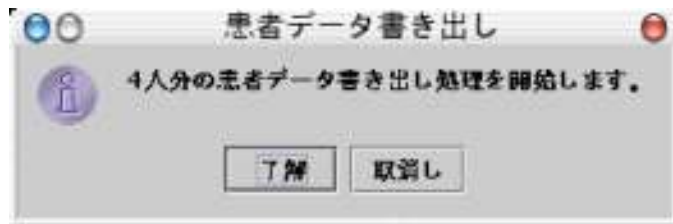
患者を選択(Ctrl キー, Apple キーや Shift キーを押しながらクリックすると複数選択可能)して「書き出し」を押します。

予め書き出し先ファイル名(PATIENT + 日付 + “.fdb”)がセットされた状態で保存先を尋ねるダイアログが表示されます。



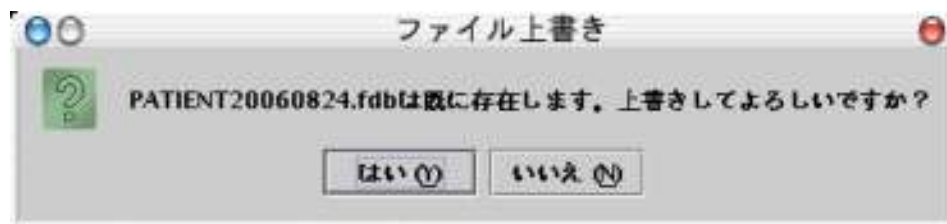
保存先を指定したら「保存」ボタンを押します。

処理開始メッセージが表示されます。ここで取り消す事も可能です。



「了解」ボタンを押すと処理開始です。

書き出し先ファイルが既存のファイルの場合は



上書きしても良い場合は、「はい」を押します。

「いいえ」を押すと、書き出し処理を中止します。

一覧画面下部の進捗バーが進捗状況に応じて変化します。

123456	名無し	男	80			2006-06-21 10:29
	日医	男	60	2003-05-02		2006-06-27 09:28
	日医 太郎	男	56			2006-08-24 11:46
	末区 花子	女	94	2006-03-03		2006-03-14 14:09
	松下 幸之助	男	55	2005-06-07	2005-06-25	2006-08-24 11:50

3/4件

患者データの書き出し中.....

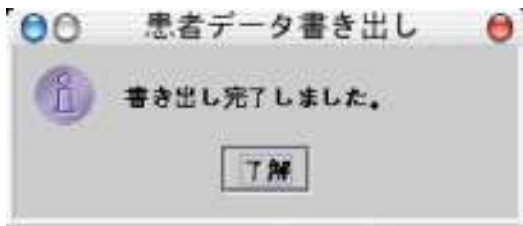
すべての選択患者の書き出しが終わると、書き出し先ファイルの最適化が行われます。

123456	日医	男	60	2003-05-02		2006-06-27 09:28
	日医 太郎	男	56			2006-08-24 11:46
	末区 花子	女	94	2006-03-03		2006-03-14 14:09
	松下 幸之助	男	55	2005-06-07	2005-06-25	2006-08-24 11:50

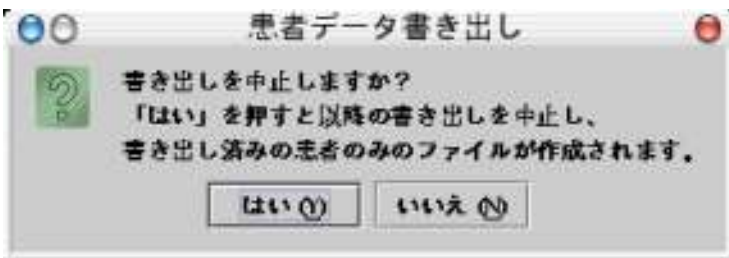
4/4件

書き出し先ファイルの最適化中.....

書き出し先ファイルの保存が終わると完了メッセージが表示されます。



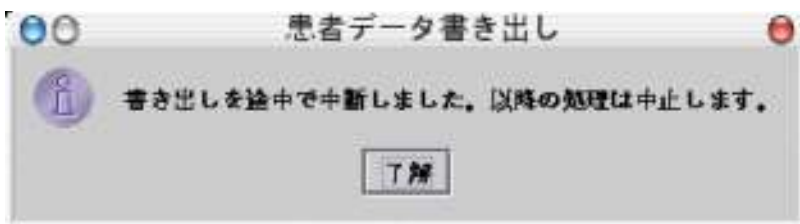
書き出しを途中で中断したい場合は、進捗バーが変化している間であれば「キャンセル」ボタンで中断することができます。



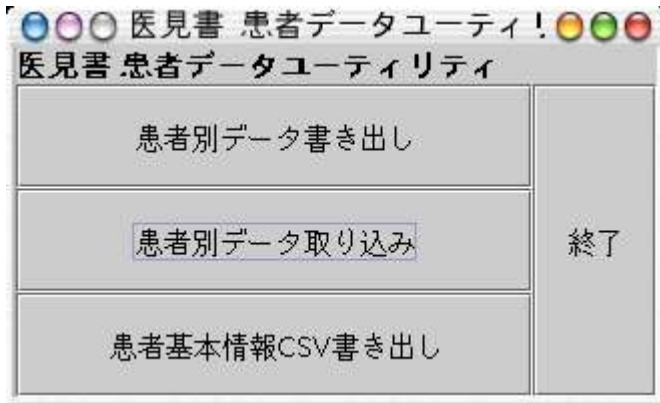
書き出しを継続する場合は「いいえ」を押すと処理が再開します。

「はい」を押すと、その時点で書き出し済みの患者までの情報がファイルに保存され、以降の患者の書き出しはキャンセルされます。

※処理完了直前は、進捗バーが変化中「キャンセル」ボタンを押して上記メッセージ画面となったとしても処理を中断できずに処理完了となる場合があります。



## 2. 患者別データの取り込み手順



患者データユーティリティ起動画面から「患者別データ取り込み」ボタンを押します。取り込み元データベースの格納場所を尋ねるダイアログが表示されます。



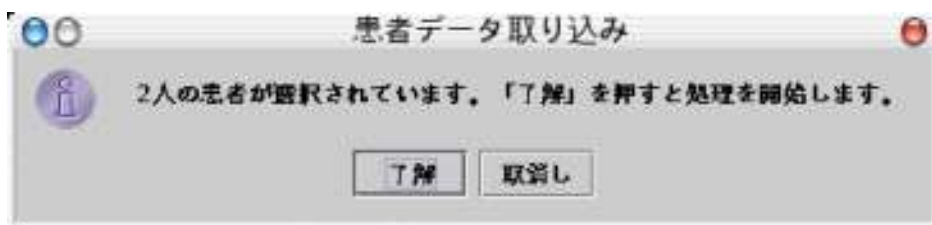
“参照”欄で別の医見書データベース(バックアップファイルも可)や「患者データ別書き出し」で書き出したFDBファイルまたは、「患者基本情報 CSV書き出し」や給管鳥データユーティリティで書き出したファイルが格納されたフォルダを選択し、取り込み元ファイル名を指定して「開く」を押します。

上段に取り込み元に登録されている患者一覧が、下段に取り込み先(現在医見書に設定されているデータベース)の患者一覧が表示されます。



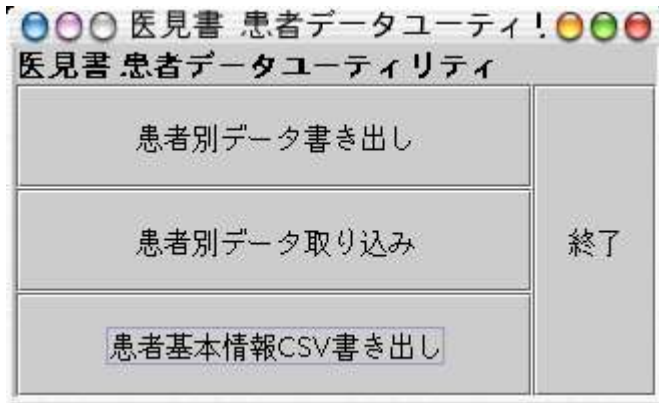
取り込み元患者一覧から、取り込む患者を選択(CTRL キー、Apple キーや Shift キーを押しながらクリックすると複数選択可)して、“取り込み方法の選択”欄のいずれかにチェックを入れて、「取り込み」を押します。

処理開始メッセージが表示されます。





### 3. 患者基本情報 CSV ファイル書き出し手順



患者データユーティリティの起動画面から「患者基本情報 CSV 書き出し」ボタンを押します。



患者を選択(Ctrl キー, Apple キーや Shift キーを押しながらクリックすると複数選択可能)して「書き出し」を押します。



予め書き出し先ファイル名(PATIENT + 日付 + “.csv”)がセットされた状態で保存先を尋ねるダイアログが表示されます。



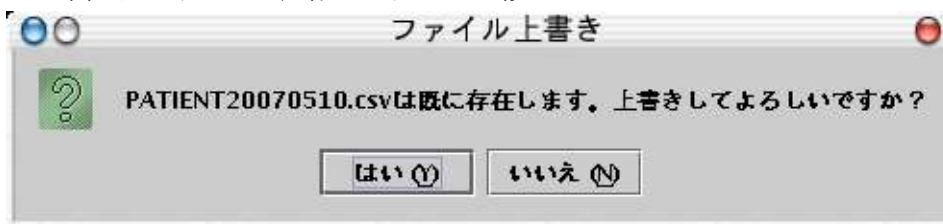
保存先を指定したら「保存」ボタンを押します。

処理開始メッセージが表示されます。ここで取り消す事も可能です。



「了解」ボタンを押すと処理開始です。

書き出し先ファイルが既存のファイルの場合は



上書きしても良い場合は、「はい」を押します。  
「いいえ」を押すと、書き出し処理を中止します。

書き出し先ファイルの保存が終わると完了メッセージが表示されます。

